

平成 30 年 10 月 25 日

参考資料

(県政・相模原・平塚・藤沢・厚木・大和記者クラブ、町田記者会同時送付)

厚木基地騒音対策協議会の要請について

厚木基地の航空機騒音問題の解消に向けて、県及び厚木基地周辺9市の首長、議長等で構成する厚木基地騒音対策協議会(会長:黒岩祐治 神奈川県知事)が本日開催され、会議終了後、協議会として次のとおり要請活動を実施しましたので、お知らせいたします。

1 要請項目

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等について

- (1) 空母艦載機着陸訓練を硫黄島で全面实施すること
- (2) 恒常的訓練施設を確保すること
- (3) 厚木基地の運用、騒音状況等についての情報提供を行うこと

2 要請先

内閣総理大臣	安倍 晋三
財務大臣	麻生 太郎
外務大臣	河野 太郎
防衛大臣	岩屋 毅
駐日米国大使	ウィリアム・F・ハガティ
在日米軍司令官	ジェリー・P・マルティネス中将
第7艦隊司令官	フィリップ・G・ソーヤー中将
在日米海軍司令官	グレゴリー・J・フェントン少将
厚木航空施設司令官	ロイド・B・マック大佐
第5空母航空団司令官	フォレスト・O・ヤング大佐

3 要請結果概要

<p>駐日米国大使館 (ジョセフ・M・ヤング首席公使)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○米軍の駐留は日本の安全保障、平和、地域の安定に貢献しており、地元自治体のサポートに感謝している。 ○駐留に特有の課題については理解しており、米軍人がよき隣人として振る舞うよう心掛けるとともに、課題を真剣に捉え、地元への影響を最小限にしていきたい。 ○恒常的訓練施設の整備については、進展させることの重要性を理解しており、日本政府に対して働きかけている。
<p>外務省 (佐藤正久副大臣)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○要望については大臣にしっかり伝える。 ○恒常的訓練施設については、馬毛島を候補地として選定し、今後、交渉をさらに加速化させていく。 ○恒常的訓練施設ができるまでは、着陸訓練は硫黄島で実施するよう、これまでも米側に伝えており、今後も強く求めていく。 ○関係自治体への情報提供は重要であり、今後も米側に求めていく。 ○厚木基地内での窓落下事故や、洋上でのヘリの事故については重く受け止めている。航空機については安全を最優先にした運用を行うよう今後も米軍に伝えていく。
<p>防衛省 (原田けんじ副大臣)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○着陸訓練について、機会あるごとに米側に対し、できる限り多くの訓練を硫黄島で行うよう、求めており、今後も求めていく。 ○馬毛島を候補地として選定し取り組んでいる。恒常的訓練施設の確保は安全保障上の重要な課題と考えており、早期に対応する。情報提供についても適時適切に対応していく。 ○空母艦載機部隊の移駐が3月に全て完了した。運用について、米側から、固定翼機は、通常岩国基地を拠点とするが、給油や訓練等の運用上の所要により厚木基地を利用することもありえるとの情報を得ている。今後も情報が米側から得られれば速やかに関係自治体に伝える。 ○平成29年と平成30年の4月・5月の騒音状況を比較し、騒音は相当程度軽減していると確認した。今後も把握と分析に努める。結果は必要に応じて関係自治体に説明する。 ○住宅防音工事については、今後も所要の予算を確保し、可能な限り早期の実施に努めていく。

問合せ先

神奈川県政策局基地対策部基地対策課
課長 三 森 電話 045-210-3370
副課長 長谷川 電話 045-210-3371

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等に関する要請

厚木基地周辺においては、長年にわたり航空機騒音が生じており、特に、昭和57年2月からは、厚木基地において空母艦載機着陸訓練が実施されるようになり、騒音被害が激化してきました。

このような状況を踏まえ、昭和63年8月に当協議会を設立し、空母艦載機による騒音被害の解消を目指し、精力的に取り組んできたところです。

その結果、これまでに、硫黄島における代替訓練施設の整備、デモンストレーションフライトの廃止といった騒音軽減策が図られ、そして、今年、ついに空母艦載機移駐が実現しました。

これにより、航空機騒音に長年苦しんできた厚木基地周辺住民の皆様が、ようやく静かな環境で安心して暮らせるようになるものと期待しています。

一方で、移駐後も厚木基地にはジェット戦闘機が飛来するなど、騒音が発生しています。

また、恒常的訓練施設についても、いまだ設置場所が特定されておらず、今後も空母艦載機着陸訓練の際には厚木基地が予備基地に指定されうるとされています。よって昨年9月に厚木基地で空母艦載機着陸訓練が実施された際に生じたような、重大な騒音被害が発生する懸念は完全には払しょくされていません。

そこで、当協議会としては、空母艦載機移駐後の厚木基地周辺住民の負担軽減を確実なものとするため、特に次のことを実施するよう要請いたします。

また、文書にてご回答くださいますよう併せてお願いいたします。

1 空母艦載機着陸訓練を硫黄島で全面实施すること

貴職におかれては、人口密集地にある厚木基地周辺住民が被ってきた深刻な騒音被害を深く認識され、全ての空母艦載機着陸訓練を硫黄島で実施し、決して厚木基地において実施しないよう要請します。

そのために、特に積極的な米側との調整、本協議会が提案しているいわゆる「直結方式」^(注)の採用、硫黄島での予備日の設定、支援態勢・施設の一層の拡充・整備等の必要な措置を実施し、予備施設での着陸訓練が必要ないよう体制を整えることを要請します。

注：直結方式・・・空母艦載機の帰還と着艦を空母と硫黄島の間で直接行うとともに、夜間連続離着陸訓練と通常訓練をすべて硫黄島で行う方式

2 恒常的訓練施設を確保すること

日米両国政府間で選定が合意されている恒常的訓練施設については、貴職の責任において早急に選定し、必要な施設整備等を進めるよう、また、その見通しについて情報を提供するよう要請します。

3 厚木基地の運用、騒音状況等についての情報提供を行うこと

空母艦載機移駐後の基地負担軽減を確実なものとし、長年にわたり基地負担を負ってきた厚木基地周辺住民が移駐の成果を実感するためには、的確な情報提供が必要です。

そのために、貴職におかれては、次のことに取り組むよう要請します。

- (1) 厚木基地の運用の現状及び今後の見通しについて、米側と必要な協議を行ったうえで、関係自治体に対して情報を提供するとともに、住民に対して十分な説明を行うこと
- (2) 厚木基地周辺における騒音状況について、国の責任において検証を行い関係自治体に対して定期的に情報を提供するとともに、住民に対して十分な説明を行うこと
- (3) 空母艦載機着陸訓練に限らず、激しい騒音の発生が予想される空母艦載機の飛行が万が一にもある場合には、速やかに関係自治体に対して情報を提供するとともに、住民に対して十分な説明を行うこと

厚木基地騒音対策協議会

会員

神奈川県知事 黒岩祐治（会長）、横浜市長 林文子、相模原市長 加山俊夫、
藤沢市長 鈴木恒夫、茅ヶ崎市長職務代理者茅ヶ崎市副市長 夜光広純、大和市長 大木哲、
海老名市長 内野優、座間市長 遠藤三紀夫、綾瀬市長 古塩政由、町田市長 石阪丈一、
神奈川県議会議員 桐生秀昭、神奈川県議会議員 藤代ゆうや、同 てらさき雄介、
同 谷口かずふみ、同 京島けいこ、同 とうま明男、同 藤井克彦、横浜市会議長 松本研、
相模原市議会議員 沼倉孝太、藤沢市議会議員 松下賢一郎、茅ヶ崎市議会議員 白川静子、
大和市議会議員 木村賢一、海老名市議会議員 倉橋正美、座間市議会議員 上沢本尚、
綾瀬市議会議員 武藤俊宏、町田市議会議員 若林章喜

顧問

衆議院議員 阿部知子、同 甘利明、同 あかま二郎、同 義家弘介、同 星野剛士、
同 もとむら賢太郎、同 後藤祐一、
参議院議員 島村大、同 松沢成文、同 佐々木さやか、同 牧山ひろえ、同 三原じゅん子、
同 三浦信祐、同 真山勇一、同 中西健治